

ひなたぼっこ通信

2016年
11月号

グループホームから

1F 想いのつまった秋祭り

天気心配をよそに、お祭り当日はさすがに秋晴れになりました。今年、利用者様の出し物として「詩吟」に挑戦することになりました。前日には詩吟ボランティアのかたに、仕上げのご指導をおおぎなしました。

そしてお祭りの当日、

「いざ、川中島！」♪鞭聲肅肅夜河を過る♪
(ベンせいしゅくしゅく よるかわをわたる)
と吟じ始められると、「ご家族からも「凄いなあ」の声がおこりました。秋空一杯に詩吟の音が響き渡りました。



普段は、主に居室にお過ごしになっている方も、今日ばかりはリクライニングの車いすで外に出ていただきました。「腰が痛いからやめとくわ」とおっしゃっていた利用者様も玄関先に出てきてくださって、催し物を「ご覧」になりました。初めて秋

祭りに参加された利用者の方もいました。全員で参加出来た。そしていろんな思いの詰まった秋祭りになりました。感動の秋祭りでした。

2F ひなたぼっこ

「学運交」で発表をして



10月20日、ひなたぼっこ全体の学運交がありました。

学運交とは”学術運動

交流集会”の略です。各施設でご利用者様へのケアについて具体的な事例をまとめて、それぞれ発表し学び合うという会でした。

グループホーム2Fでは、入職して半年あまりの私が代表に選ばれました。毎日のケアをしていくことで未だ精一杯なのですが、事例を資料にすることなど、苦心の連続でレポートを書いていきました。そして先輩方、看護師などに助言や教えをいただきながら発表の日をむかえることができました。発表後、理事長、研修委員より、多くのご指摘、ご指導をいただきました。例えば、利用者様の1日の生活のメリハリを作るための「服装の工夫」などに思いがけず高い評価をいただきました。そうしたことを職場でさらに掘り下げ、「よりよいケア」をめざしたいと思いました。

こうした機会を、ひなたぼっこ全体で取り組み、新たな職員にも任せるところは任せる

ということ、ステップアップしていくことが大事なのだと感じました。レポートを書くことはたしかに苦心ではありますが、今後もこういう学びの場に参加していきたいと思いました。(5)

宅幼老所から 秋祭り

10月22日土曜日に、宅幼老所とグループホーム合同の秋祭りを開催いたしました。

当日はとても気持ちのよい秋晴れとなり、多くの方々で賑わいました。オープニングは、宅幼老所職員による木遣りからのスタートです。お祭りでは日頃よりお世話になっている、ボランティアの大正琴のきさらぎの会の皆さま、合唱の星の会の皆さま、日本舞踊のお二方フラダンスの皆さま、太鼓演奏のナインビーズの皆さまにお集まりいただき、とても素敵な踊りや演奏を披露していただきました。利用者様も手拍子をされたり、手を動かし一緒に踊られたりしていました。

そのあとは宅幼老所の利用者様によるひなたぼっこ音頭です。利用者様にマイクをお渡しして元気よく歌っていただき、職員は歌に合わせて踊りました。



最後には利用者様の抽選会を行いました。一等はご飯のお供セットです。当たった方は、「あーがとうー」と商品を握りしめ、とても嬉しそうに「ニニニ」笑っていらっしやい

ました。

当日はフリーマーケットも開催し、宅幼者所とグループホームの売り上げは12080円、先日ケアハウスで行った秋祭りでの売り上げは13930円で、計26010円を熊本地震の義援金とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。(わ)

〈今月のマクト〉

今月は柿とぶどうの作品を作りました。ぶどうは細長く切った折り紙の端と端を糊付けし、房を作り、ぶどうの形に切った画用紙に貼り付けました。

柿は、丸く切った画用紙にへたを張り付けて作りました。皆さま「こうでいいの?」など相談されながら、一生懸命作られました。

そして今月下旬からはクリスマスツリー作りが始まりました。松ぼっくりにビーズやコットンボールなどを貼り付けて作ります。鉢の部分はペットボトルのキャップを使っています。皆さま思い思いに制作され、個性の光る作品が毎日出来上がっています。



ケアハウスから 紅葉狩り

ケアハウスの紅葉狩りツアー、十月二十五日に参加したYさんにインタビューしました。以下インタビュー記事・・・

「ものすごくきれいだったよ。去年より今年の方が赤や黄色で良い色だった。葉っぱを沢山拾ってきたので、それを色画用紙にレイアウトしてみた。(ラミネートして飾りました)そのあとはスシローに行ったんだよ。6人で行ったので楽しかったね。寿司はまあまあだったけど、いろいろ食べたよ。とくアナゴがよかったね。ま、元気に行ってこれてよかった。また来年も夢科湖に行きたいね。」ということ。行かなかった私もうれしくなりました(ま)



ケアハウスのおまつり

大きなハロウィンかぼちゃと青い法被がお出迎えし、綿菓子とポップコーンの甘い香りが漂う中でスタートした「秋祭り」。水風船を片手に綿菓子をほおばる皆さまと共に、スタッフも大いにお祭りを

楽しませていただきました。

今年、諏訪地域は6年に1度の御柱の年です。諏訪神社の御柱が終わると。各地域で小宮祭がおこなわれているのはご存じのとおり。当然ケアハウスでも「御柱」をしなければいけません。玄関ホールから食堂への「大曲り」として御柱が見どころになりました。印象的だったのは南原区の皆様による、木遣りとよさこいソーラン踊りでした。その迫力とキレの良さには参加者全員が感動しました。

次は6年後です。「♪皆様、元気で、山の神様、お願いだ!よいさ!よいさ!」(ほ)

利用者様の文芸作品から

早朝の 机を飾る花の色
今日を生きる身に 光を与える

人生は 浄土へ向かう旅なれど
一歩一歩に 愛を重ねん

山国の すくとんと暮れて 虫時雨

発行 社会福祉法人ひなたほっこ

理事長 森 正明

〒399-0211

富士見町富士見11650-1

TEL 0266-61-2335

FAX 0266-61-2336